

平成23年度関東高等学校男子バスケットボール大会 第65回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

平成23年6月4日(土)

【男子】1回戦 富士北麓公園体育館 Aコート 第3試合

県立宇都宮工業 (栃木)	84	$\left\{ \begin{array}{l} 22 - 17 \\ 14 - 20 \\ 27 - 13 \\ 21 - 17 \\ - \end{array} \right\}$	67	國學院大学久我山 (東京)
------------------------	-----------	---	-----------	-------------------------

県立宇都宮工業

番号	氏名	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト	スティール	ブロック	ターン
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	計				
4*	稲葉 泰嗣	14	0	3	7	8	0	3	2	3	1	4	5	2	0	3
5*	安藤 貴史	9	0	13	4	6	1	1	1	1	1	2	4	5	0	2
6*	内藤 聡	13	2	4	3	10	1	1	3	3	7	10	4	3	0	3
7*	橋本 晃佑	34	2	5	12	20	4	6	2	4	10	14	4	0	2	1
8	諏訪 伸弥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	杉山 智	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0
10	中田 佳秀	3	0	0	0	1	3	4	0	0	0	0	0	1	0	1
11	穂積 司															
12	高橋 圭悟															
13	大塚 隆史															
14*	佐藤 翔耶	10	1	3	2	7	3	5	5	3	1	4	3	1	1	3
15	萩原 陵太															
16	中居 康平	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	塩野 修平															
18	國分 優太															
HC	千村 隆/TEAM									0	0	0				1
		84	5	28	28	52	13	22	13	14	20	34	20	12	3	14

*スターティングメンバー

確率 17.9% 53.8% 59.1%

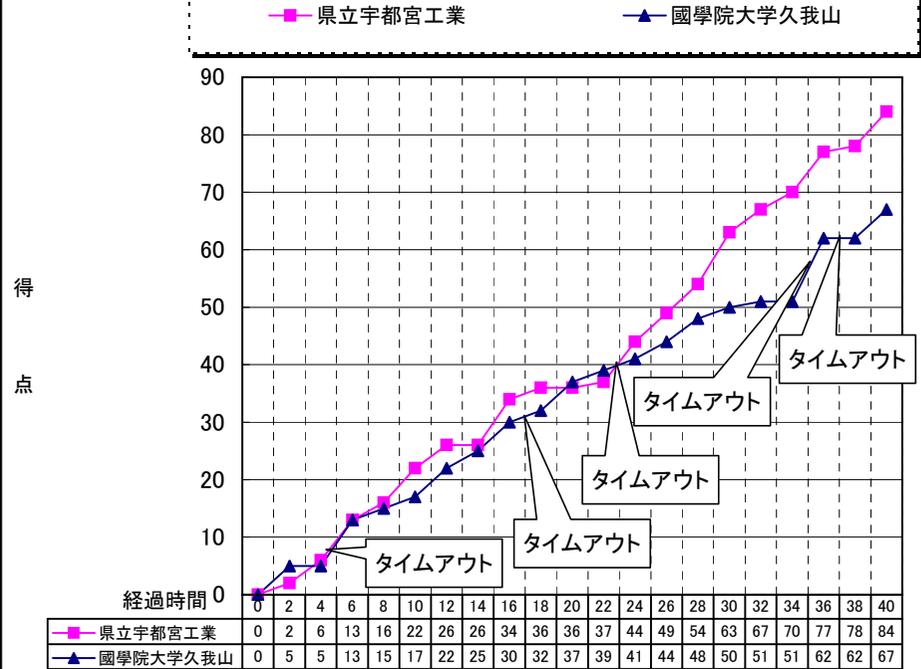
國學院大学久我山

番号	氏名	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト	スティール	ブロック	ターン
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	計				
4*	真木 達	13	2	6	2	3	3	3	4	0	8	8	1	3	0	3
5	池田 透	3	1	1	0	0	0	0	2	0	1	1	1	0	0	1
6*	了海 渚	15	3	10	3	8	0	0	2	1	4	5	1	2	0	2
7	倉石 士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8*	細江 駿介	5	0	0	2	2	1	4	2	1	7	8	0	1	0	1
9	濱西 健人															
10*	向井 和希	5	0	0	2	2	1	2	1	1	1	2	0	0	0	4
11*	永野 匠	7	1	1	2	4	0	0	2	0	4	4	0	2	0	2
12	加藤 拓未	0	0	1	0	3	0	0	1	0	1	1	0	1	0	3
13	渡邊 弘太	6	0	0	3	8	0	0	0	0	2	2	0	1	0	0
14	玉木 歩															
15	トカチヨフ・サワ	4	0	1	2	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
16	濱西 秀人	6	2	2	0	2	0	0	0	1	1	2	0	0	0	1
17	東 克哉	3	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	1
18	戸堀 勇吾	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0
チーム	酒井 良幸/TEAM									0	0	0				0
		67	10	23	16	35	5	9	20	4	29	33	4	11	0	18

*スターティングメンバー

確率 43.5% 45.7% 55.6%

2分毎による得点の推移



戦評

宇都宮工ゾーン、久我山はマンツーマンでゲームはスタート。宇都宮工は⑦橋本のポストを起点としたオフェンスや⑦橋本自らのゴール下のポストプレイ、リバウンドシュートなどで得点を重ねる。久我山は宇都宮工のゾーンを上手く攻撃し、⑥了海の3Pシュートや④真木のシュートで得点を重ね、一進一退の攻防が続く、前半を36-37久我山1点リードで終える。後半に入り、宇都宮工はディフェンスを多少変化させ、⑦橋本の攻守にわたる活躍もあり、徐々にリードを広げる。久我山は⑧細江がゴール下で頑張る、必死に追いつくが宇都宮工の速いランディションに苦しみ、なかなか追いつくことができず、そのまま試合終了。宇都宮工⑦橋本の攻守にわたる活躍と力強いチームディフェンス、久我山の最後まであきらめず頑張る姿が印象に残るゲームだった。

主審 大庭英裕

副審 秋山知洋

記入者 金子義人